

今後の日程

(10月)

- 11 紀の川市交渉
- 4~15 第17回全国識字経験交流集会 (徳島)
- 17 住環境・労働政策各運動部会議
- 20 杭ノ瀬支部女性部定期大会 (杭ノ瀬文化会館)
- 22 移動保健所健康検査事業 (広川・熊野町集会所)
- 23 狭山ピラ統一行動 田辺市交渉
- 23 芦原支部女性部定期大会
- 27 湯浅支部差別事件報告集会 (湯浅町総合センター)
- 29 移動保健所健康検査事業 (山口・山口会館)
- 30 第2次中央集会 (東京)
- 31 狭山事件の再審を求める市民集会 (日比谷野外音楽堂)

◆全女にむけた要請行動

- 10 山口、本渡
- 11 湯浅
- 21 伏原
- 23 善明寺
- 23 芦原

法制度を機に 差別撤廃にむけ全力で闘おう!

部落解放 第45回 湯浅研究集会



あいさつする石本一也・湯浅支部支部長



湯浅支部とのかかわりを語った組坂中央執行委員長

8月17日の全体集会には、373人が参加した。今年第45回という節目の年であり、記念講演には組坂繁之・中央執行委員長を講師に「部落差別解消推進法」と題して、湯浅支部支部長石本一也が挨拶した。石本支部長は「知ってまずか? 部落差別解消推進法」、「人権と福祉の町づくり」、「えん罪、狭山事件45年」というテーマで分科会をひらき、参加者から多くの意見や質問があった。内容の濃い分科会となった。

28日のまとめ集会では、各分科会の報告と毎年恒例

地域活動としての学習会 今年で45回の節目

湯浅支部では、今年も恒例の部落解放湯浅研究集会が行われた。この集会は、湯浅支部や共闘会議のメンバーを中心に、今年からは湯浅町も加わって実行委員会を組織し、多くの町民を対象とした地域活動となっている。

湯浅研究集会

となつて居る地域の高齢者から、厳しい差別のなか、解放運動にとりくんだ半生を語る「私の歩んだ道」が発表された。

今年の研究集会には5日

2700人が広島に結集

原水禁世界大会in広島

被爆72周年原水禁世界大会(広島大会)が原子爆弾が投下された8月6日、県立総合体育館アリーナでひらかれ、世界各国から2700人が参加した。

式典では、72年前に落とされた原爆が、その年のうちに21万人もの命を奪い、また生き残った人びとも大変な苦しみを強いられたことが語られ、これらの言葉が強烈に心に残り、戦争の悲惨さを心から実感した。

7月7日に核兵器禁止条約が122か国の賛成で採択された一方で、核兵器が使用された唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約交渉会議に参加できないこととに参加者は大きな憤りを感じた。

間て751人の参加があり、多くの皆さんと「推進法」や人権の町づくり、狭山再審へのとりくみについて語り合い、有意義な集会となった。

健康を守る検診を

健康検査事業

部落の健康を守る目的で実施される、移動保健所健康検査事業にかかる5者会議が7月31日、同和企業センターでひらかれ、和歌山医大、和歌山市、広川町、各保健所、県連が参加し、検査項目の協議や申し込み方法、健康にかんする講演会の内容などを協議した。

はじめに、山本昌代・生活福祉運動部副部長から「1960年代から医大とともに地域の健康状態を知り、指導をすすめてきた。これまで積み上げてきたデータを活用し、今後のと

要求を集約し、対和歌山市交渉へ

和市ブロック総会

和歌山市ブロック連絡協議会総会8月7日、同和企業センターでひらき、和歌山市選出の執行委員、支部三役、ブロック役員約25人が参加した。

まず、瀧口秀光・議長よりあいさつがあり、田中博之・事務局長の進行で経過報告、決算・予算・会計監査報告は山本敏明・会計監査から報告され、2017年度対和歌山市交渉の日程行動と基本要求と各支部要求項目について確認された。つぎに、狭山事件にかんする学習会を県連で主催

- ◆役員
- 議長 瀧口 秀光
 - 副議長 中辻 繁樹
 - 事務局長 田中 博之
 - 会計 松井 幸雄
 - 会計監査 山本 敏明
 - 事務局 渡部 伊珠美

支局からの お知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思っております。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただけます。取材に走りまわります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先)〒640-8314

和歌山市神前405-3
部落解放同盟連合会内
解放新聞和歌山支局宛



開会総会には2,700人が参加した